

平成24年9月9日（日）

日 本 緑 化 工 学 会

平成 2 4 年 通常総会

東京農業大学世田谷キャンパス1号館 131教室

（東京都世田谷区桜丘）

－ 次 第 －

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 議 案
 - （1）第一号議案 平成23年度事業報告
 - （2）第二号議案 平成23年度決算報告
 - （3）第三号議案 平成24年度事業計画案
 - （4）第四号議案 平成24年度収支予算案
 - （5）第五号議案 原子力災害地の里山の汚染対策に関する
アピールの決議案
5. その他
6. 閉 会

第一号議案

日本緑化工学会 平成 23 年度 事業報告

平成 24 年 9 月 9 日
(平成 23 年 8 月 1 日～平成 24 年 7 月 31 日)

1. 第 42 回日本緑化工学会大会

開催年月日：平成 23 年 9 月 11 日～13 日

開催地：千葉大学西千葉キャンパスけやき会館（千葉市稲毛区弥生）

発表題数：79 題（論文 20、技術報告 36、研究交流発表 21）

2. 研究会等

(1) 斜面緑化研究部会 第 42 回大会にて研究集会を実施

開催年月日：平成 23 年 9 月 12 日

開催地：千葉大学 けやき会館（千葉市稲毛区）

テーマ：「法面における自然回復緑化施工後の植生管理の実態から考える緑化
目標設定のあり方」

参加者数：84 名

(2) 緑・健康研究部会 第 42 回大会にて研究集会を実施

開催年月日：平成 23 年 9 月 12 日

開催地：千葉大学 けやき会館（千葉市稲毛区）

テーマ：「被災者に対するメンタルケアとしての緑化・植物」

参加者数：25 名

(3) 都市緑化技術研究部会 シンポジウム

開催年月日：平成 23 年 10 月 13 日 13:00～16:00

開催地：すまい・るホール（東京都文京区）

テーマ：「浦安の地盤液状化被害から何を学び明日に活かすのか」

参加者数：120 名

(4) 乾燥地緑化研究部会 第 17 回シンポジウム

開催年月日：平成 24 年 1 月 28 日 13:00～17:00

開催地：東京都市大学横浜キャンパス情報基盤センター 2 階プレゼンテーションラボ
（横浜市都筑区）

テーマ：「乾燥地の生態系とその課題」 1 中央アジア乾燥地の自然と保全」

参加者数：20 名

共催：鳥取大学黄砂プロジェクト、岡山大学乾燥地生態系プロジェクト

(5) 斜面緑化研究部会 研究集会

開催年月日：平成 24 年 1 月 31 日 13:30～16:00

開催地：国立オリンピック記念青少年総合センターセンター棟 1 階（東京都渋谷区）

テーマ：「斜面緑化研究部会がめざす法面緑化の新たなルール作り」

参加者数：80 名

(6) 積雪寒冷地緑化研究部会「帯広市民大学講座（道民カレッジ）」と共催にて研究会を実施

開催年月日：平成 24 年 2 月 24 日 14:00～16:00

開催地：とからプラザ 2F 視聴覚室（北海道帯広市）

テーマ：「名も知られぬ草木の力ー環境形成技術と自生植物ー」

参加者数：75 名

(7) 都市緑化技術研究部会 浦安市の液状化調査の報告書を作成

平成 23 年 4 月～7 月に行った 10 回にわたる調査の結果をとりまとめた報告書

「東日本大震災による千葉県浦安市の地盤液状化被害と緑地に関する調査報告書」（都市
緑化技術研究部会）を作成した（ホームページからダウンロード可能）

3. シンポジウム

(1) 第 42 回大会 公開特別シンポジウム

開催年月日：平成 23 年 9 月 11 日

開催地：千葉大学 けやき会館（千葉市稲毛区）

テーマ：「都市の沿岸防災と緑化」

演題：4

4. 現地見学会

(1) 第 42 回大会見学会

開催年月日：平成 23 年 9 月 13 日

開催地：出光興産 千葉製油所「百年の森構想」（千葉県市原市姉崎海岸）

募集人員：40 名（先着・事前申し込み） 参加費：1,000 円

5. 学会誌の発行

(1) 第 37 巻 1 号：平成 23 年 8 月 31 日発行 278 ページ（第 42 回大会特集号）

(2) 第 37 巻 2 号：平成 23 年 11 月 30 日発行 98 ページ

(3) 第 37 巻 3 号：平成 24 年 2 月 28 日発行 84 ページ

(4) 第 37 巻 4 号：平成 24 年 5 月 31 日発行 45 ページ

6. 英文誌 Landscape and Ecological Engineering の発行

(1) Vol. 8 No. 1：平成 24 年 1 月発行 128 ページ（11 編）

(2) Vol. 8 No. 2：平成 24 年 7 月発行 103 ページ（9 編）

2012 年に発表された Impact Factor (2011) の係数 0.642

7. 平成 23 年度日本緑化工学会賞の授与

技術賞 東京電力株式会社（代表：齋藤与司二 氏）

「自主生産による地域性種苗を用いた自然回復緑化の取り組み」

研究奨励賞 淑 敏氏（鳥取大学）

「緑陰形成による駐車場の熱環境改善効果の定量的評価に関する研究」

8. CPD

(1) 緑化・環境 CPD 協議会

会員数 899 名（うち当学会員 700 名）

(2) 講習会などの認定と、CPD 参加証明書の発行

今期の CPD 認定行事による CPD ポイントの認定は、合計 59.0P となった。

緑化工学会が、シンポジウム 大会 研究集会などを実施し、21.5P 発行した。

国土環境緑化協会連合会が講習会を 10 回実施し、25.5P 発行した。

NPO 法人日本緑化工協会が講習会を 1 回実施し、7.5P 発行した。

その他、日本自然保護協会のシンポジウムを認定し 4.5P 発行した。

各会場で、CPD 参加証明書の発行を行った。

(3) CPD プログラム認定委員会

プログラム認定を行った。

(4) その他

ホームページの更新を行った。

Green-if などを通じて、認定行事の広報を行った。

9. その他事業

(1) 日本緑化工協会主催「緑化工技術講習会」の後援

開催年月日：平成 24 年 1 月 30 日・31 日

開催地：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）

備考：講師派遣 3 名

- (2) 公益財団法人農学会「JABEE 公認の分野審査講習会」の協賛
- (3) 会員有志にて、紀伊半島における 2012 年台風 12 号の土砂災害調査を実施

10. 会員数（平成 24 年 7 月末現在、カッコ内は前年 7 月末、(())内は前々年 8 月末）

- (1) 正 会 員： 691 名 (736 名) ((709 名)) ←747 名（その前年）
- (2) 学生会員： 119 名 (124 名) ((108 名)) ←94 名
- (3) 賛助会員： 67 団体 (71 団体) ((74 団体)) ←80 団体
- (4) 購読会員： 39 団体 (38 団体) ((38 団体)) ←39 団体

平成23(2011)年度 収支報告書

(平成23年 8月 1日 ～ 平成24年 7月31日)

日本緑化工学会

	費 目	予算額 (A)	実際額 (B)	差額 (B-A)	対予算割合 (B÷A×100)	摘 要
収入の部	正会員費	5,888,000	5,070,000	-818,000	86.11	正 会 員 691名 / 今年度入金 709名 (@8,000)
	賛助会員費	2,485,000	2,205,000	-280,000	88.73	賛助会員 67団体 / 今年度入金 74団体 (@35,000)
	購読会員費	304,000	296,000	-8,000	97.37	購読会員 39団体 / 今年度入金 38団体 (@8,000)
	学生会員費	496,000	347,300	-148,700	70.02	学生会員 119名 / 今年度入金 108名 (@4,000)
	入会登録料	28,000	42,700	14,700	152.50	55名 (@700)
	投稿料	380,000	460,231	80,231	121.11	通常号(論文・短報)、大会号(論文技術報告)
	広告料	1,000,000	1,360,000	360,000	136.00	Vol.36-2～Vol.36-4分
	雑収入	1,200,000	976,505	-223,495	81.38	別刷・BN販売収入、著作権使用料、J-Stage有料閲覧費、利息等
	小 計	11,781,000	10,757,736	-1,023,264	91.31	
	繰越金	6,134,404	6,134,404			
	合 計	17,915,404	16,892,140	-1,023,264	94.29	
支出の部	会 議 費	50,000	87,054	37,054	174.11	理事会・評議会会議室借上費 他
	旅費交通費	400,000	287,840	-112,160	71.96	理事会交通費
	事務人件費	360,000	197,700	-162,300	54.92	本部経費、総務部会事務費、HP・ML管理費、サーバレンタル料
	通 信 費	1,000,000	821,716	-178,284	82.17	会誌・会費請求書発送費、電話・FAX料
	事務用品費	300,000	270,403	-29,597	90.13	総務部会事務用品費、コピーリース料
	学会誌刊行費	6,280,000	6,181,374	-98,626	98.43	学会誌編集・製作委託費、J-Stage登録費用、英文誌出版補助費
	大会補助費	500,000	33,612	-466,388	6.72	大会開催補助費
	シンポジウム・見学会補助費	300,000	98,589	-201,411	32.86	補助費(赤字補填分)、他学会共催シンポジウム補助費
	研究部会補助費	300,000	0	-300,000	0.00	補助費(赤字補填分)、活性化補助費
	委員会等経費	240,000	430,960	190,960	179.57	編集委員会、大会誌編集委員会、国際誌編集委員会等経費
	事務委託費	1,800,000	1,369,146	-430,854	76.06	学会事務業務委託費(会員入退会、会費徴収、会計事務業務、英文誌刊行事務委託費等)
	CPD等経費	500,000	500,000	0	100.00	管理経費
	諸会費	180,000	140,000	-40,000	77.78	JABEE、JAFEE
	震災特別対策費	500,000	0	-500,000	0.00	震災調査費用
	雑費	30,000	117,087	87,087	390.29	振込手数料 他
	予備費	5,175,404	0	-5,175,404	0.00	慶弔費 他
	合 計	17,915,404	10,535,481	-7,379,923	58.81	
	次期繰越金		6,356,659			

平成23年度 日本緑化工学会の収支決算内容を上記のとおりご報告申し上げます。

平成24年 8月 1日

日本緑化工学会経理担当理事 田中賢治



平成23(2011)年度 貸借対照表

平成24年 7月 31日現在

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	71,950	前受け会費	181,650
預 け 金	6,360,788	未払い費用	153,595
未 収 金	259,166	次期繰越金	6,356,659
合 計	6,691,904	合 計	6,691,904

－ 財 産 目 録 －

資産の部

科 目	摘 要	金 額
現 金	事務局	71,950
預 け 金	みずほ銀行 本郷支店	7,981,516
	本郷郵便局	-1,654,638
	本部(東京農業大学)	33,910
	小 計	6,360,788
未 収 金	BN販売	3,080
	岡山大会 投稿料	222,586
	別刷り代(37巻1号) (3件)	33,500
	小 計	259,166
合 計		6,691,904

負債の部

科 目	摘 要	金 額
前受け会費	平20(2008)年度	8,000
	平21(2009)年度	8,000
	平22(2010)年度	8,000
	平23(2011)年度	157,650
	小 計	181,650
未払費用	乾燥地緑化研究部会 シンポジウム補助費	30,580
	大会打合せ 旅費・経費	123,015
	小 計	153,595
合 計		335,245

－ 会 計 監 査 報 告 －

平成23年度(平成23年 8月 1日 ～ 平成24年 7月31日) 収支決算報告書および財産目録に基づき、帳簿類を監査したところ、適正であることを認めます。

平成24年 8月 1日

平成23年度 日本緑化工学会

同上

監事 小林達明 
 監事 中野裕司 

平成24(2012)年度 日本緑化工学会(英文誌)

【貸借対照表】 < 平成24年 7月 31日現在 >

(単位:円)

借 方 (資産の部)		貸 方 (負債の部)	
科 目	金 額	科 目	金 額
預 け 金	-109,331	前 受 金	22,050
未 収 金	161,700	次期繰越金	30,319
合 計	52,369	合 計	52,369

(資産の部)

科 目	摘 要	金 額
預 け 金	みずほ銀行 本郷支店	-2,216,681
	本郷郵便局	2,107,350
	小 計	-109,331
英文誌出版補助費		0
未 収 金	会 費 正会員 (10名)	132,300
	学生会員 (4名)	29,400
	小 計	161,700
合 計		52,369

(負債の部)

科 目	摘 要	金 額
前 受 金	会 費 (7名)	22,050
合 計		22,050

【収支報告書】 < 平成23年 8月 1日 ~ 平成24年 7月 31日 >

	費 目	予算額	実際額	差額	摘要
収入	正会員費	668,850	558,600	-110,250	会員87名/今年度入金73名
	学生会員費	29,400	16,800	-12,600	会員7名/今年度入金4名
	出版補助費	150,000	150,000	0	
	小 計	848,250	725,400	-122,850	
	繰 越 金		69,169		
	合 計		794,569		
支出	購読費 LEE誌	701,925	614,250	-87,675	購読料(7巻2号、8巻1号)
	諸会費 2012年	150,000	150,000	0	ICLEE運営事務負担金
	合 計	851,925	764,250	-87,675	

次期繰越金 30,319

— 会計監査報告 —

平成24年度(平成23年 8月 1日 ~ 平成24年 7月31日) 収支決算報告書および財産目録に基づき、帳簿類を監査したところ、適正であることを認めます。

平成 24年 8月 1日

平成24年度 日本緑化工学会

同上

監事 小林達明

監事 中野裕司

第三号議案

日本緑化工学会 平成 24 年度 事業計画 (案)

平成 24 年 9 月 9 日
(平成 24 年 8 月 1 日～平成 25 年 7 月 31 日)

1. 第 43 回日本緑化工学会大会

日本緑化工学会・日本景観生態学会・応用生態工学会 3 学会合同大会『ELR2012 東京』
として実施

開催年月日： 平成 24 年 9 月 8 日～11 日

開催地： 東京農業大学 世田谷キャンパス (東京都世田谷区桜丘 1-1-1)

発表題数： 79 題 (論文 20、技術報告 38、研究交流発表 46)

※ 44 回大会(平成 25 年 10 月)は鳥取大学で開催予定

2. 研究会

研究部会の構成についてさらに検討した上で、1～3 回開催予定

- | | | |
|-------------|--------------|--------------|
| ①斜面緑化研究部会 | ②都市緑化技術研究部会 | ③環境林研究部会 |
| ④生態系保全研究部会 | ⑤乾燥地緑化研究部会 | ⑥積雪寒冷地緑化研究部会 |
| ⑦生態緑化基盤研究部会 | ⑧生物多様性緑化研究部会 | ⑨緑・健康研究部会 |

※ ③環境林研究部会、④生態系保全研究部会、⑦生態緑化基盤研究部会を発展的に統合し「生態・環境緑化研究部会 (仮称)」を年内に発足

(1) 斜面緑化研究部会

①第 43 回大会・ELR2012 東京にて研究集会を企画

開催年月日：平成 24 年 9 月 10 日(月) 10:30～12:00

開催地：東京農業大学 一号館 142 教室 (東京都世田谷区)

テーマ：「斜面緑化研究部会がめざす法面緑化の新たなルール作り (その 2)
ー法面の自然回復緑化の最前線 モニタリングと評価ー」

(2) 緑・健康研究部会

①第 43 回大会・ELR2012 東京にて研究集会を企画

開催年月日：平成 24 年 9 月 8 日(土) 17:00～19:00

開催地：東京農業大学 一号館 132 教室 (東京都世田谷区)

テーマ：「植物を用いた被災者支援 ー農学系学生による活動報告ー」

(3) 生態系保全研究部会 (生態・環境緑化研究部会)

①第 43 回大会・ELR2012 東京にて研究集会を企画 (生態系保全研究部会)

開催年月日：平成 24 年 9 月 10 日(月) 9:00～10:30

開催地：東京農業大学 一号館 142 教室 (東京都世田谷区)

テーマ：「生物多様性保全に寄与する地域性種苗の確保に関する取り組み
ー三陸地域の復興を主な視点にー」

②災害に強い緑地、環境づくりを目指す際に求められる生物多様性との対応関係について
の検討、必要な現地調査、研究会などを実施 (生態・環境緑化研究部会)

(4) 乾燥地緑化研究部会

①日本緑化工学会 乾燥地緑化研究部会第 18 回シンポジウム

開催年月日：平成 25 年 1 月頃を予定

開催地：検討中

テーマ：「乾燥地の生態系とその課題 II」

(5) 生物多様性緑化研究部会

①里山の管理と生物多様性についてのシンポジウムを開催する

②明治大学において「里山には適正な管理を」シリーズのシンポジウム、見学会、講演
会を毎月行っていくので、連携しながら、開催する

(6) 第 43 回大会・ELR2012 東京にて研究集会を企画

企画代表者：小林達明、水庭千鶴子、大内公安、星澤保弘

開催年月日：平成 24 年 9 月 8 日(土) 10:00～12:00

開催地：東京農業大学 一号館 242 教室（東京都世田谷区）

テーマ：「原子力災害被災地の生態再生 (I) ー里山ランドスケープの放射能と除染ー」

3. シンポジウム

(1) ELR2012 東京 3 学会合同シンポジウム

開催年月日：平成 24 年 9 月 9 日(日)

開催地：東京農業大学 百周年記念講堂（東京都世田谷区）

テーマ：「災害と自然再生」 演題：4

(2) 日本緑化工学会 公開シンポジウム

テーマ：「多様性に考慮した道路のり面緑化地の管理手法の検討」

開催地：京都（予定）

4. 現地見学会

(1) ELR2012 東京 エクスカーション

開催年月日：平成 24 年 9 月 10 日～11 日

テーマ：東京湾から九十九里・下総台地へ

～沿岸地域の防災・自然との共生を体感する～

見学地：東京臨海広域防災公園、千葉県浦安市・地盤液状化被害地、森ヶ崎水再生センター、屏風ヶ浦、飯岡灯台、飯岡市街（津波被災地）、九十九里砂防林（海岸林と津波）、寒菊（砂丘と後背湿地地形）、成東食虫植物群落、千葉市若葉区大草町募集人員：40 名(先着・事前申し込み)

(2) 日本緑化工学会 現地見学会

テーマ：「多様性に考慮した道路のり面緑化地の管理手法の検討」

見学地：滋賀県の新名神高速道路で行われた表土ブロック移植や表土マット移植現場
および 高速道路総合技術研究所

5. 学会誌の発行：4 回発行予定（38 巻 1 号～4 号）

（既刊） 第 38 巻 1 号：平成 24 年 8 月 31 日発行 261 ページ

6. 英文誌 Landscape and Ecological Engineering の発行：2 回発行予定(Vol. 9 No. 1, No. 2)

7. 学会賞の授与

(1) 平成 24 年度日本緑化工学会賞の授与

8. CPD

(1) CPD 行事の認定と CPD ポイントの付与，CPD 参加証明書の発行

(2) 会員の拡大・新会員への CPD カード発行を行う

(3) 必要に応じ HP の更新を行う。HP 管理費を計上する

(4) 必要に応じ理事会，検討部会，認定委員会を開催するが，通常の打合せなどは E-mail にて行うものとする

(5) 地盤工学会サーバー費用を協議会より出金するため，当学会からは協議会へ会費計上する

9. 東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）震災対策調査

各部会での活動を基本として、適宜調査研究等を行う

10. 2012 年台風 12 号土砂災害調査

和歌山県，和歌山大学と協力して 2012 年台風 12 号土砂災害の調査を行う

平成24(2012)年度 収支予算書 < 案 >

(平成24年 8月 1日 ~ 平成25年 7月31日)

日本緑化工学会

	費 目	H24年度 予算額 (A)	H23年度 予算額 (B)	差額 (A-B)	摘 要
収入の部	正会員費	5,528,000	5,888,000	-360,000	会員数 691名 (@8,000)
	賛助会員費	2,345,000	2,485,000	-140,000	会員数 67団体 (@35,000)
	購読会員費	312,000	304,000	8,000	会員数 39団体 (@8,000)
	学生会員費	476,000	496,000	-20,000	会員数 119名 (@4,000)
	入会登録料	38,500	28,000	10,500	55名 (@700)
	投 稿 料	380,000	380,000	0	
	広 告 料	1,000,000	1,000,000	0	
	雑 収 入	1,200,000	1,200,000	0	別刷・BN販売収入、著作権使用料、J-Stage有料閲覧費、利息等
	小 計	11,279,500	11,781,000	-501,500	
	前年度繰越金	6,356,659	6,134,404	222,255	
	合 計	17,636,159	17,915,404	-279,245	
支出の部	会 議 費	50,000	50,000	0	理事会・評議会会議室借上費 他
	旅費交通費	400,000	400,000	0	理事会交通費
	事務人件費	350,000	360,000	-10,000	本部経費、総務部会事務費、HP・ML管理費、サーバレンタル料
	通 信 費	1,000,000	1,000,000	0	会誌・会費請求書発送費、電話・FAX料
	事務用品費	300,000	300,000	0	総務部会事務用品費、コピーリース料
	学会誌刊行費	6,200,000	6,280,000	-80,000	学会誌編集・製作委託費、J-Stage登録費用、英文誌出版補助費
	大会補助費	500,000	500,000	0	大会開催補助費
	シンポジウム・見学会補助費	300,000	300,000	0	補助費(赤字補填分)、他学会共催シンポジウム補助費
	研究部会補助費	300,000	300,000	0	補助費(赤字補填分)、活性化補助費
	委員会等経費	240,000	240,000	0	編集委員会、大会誌編集委員会、国際誌編集委員会等経費
	事務委託費	1,800,000	1,800,000	0	学会事務業務委託費(会員入退会、会費徴収、会計事務業務、英文誌刊行事務委託費等)
	CPD等経費	500,000	500,000	0	管理経費
	諸会費	180,000	180,000	0	JABEE、JAFEE
	震災特別対策費	500,000	500,000	0	震災調査費用
	雑費	30,000	30,000	0	振込手数料 他
	小 計	12,650,000	12,740,000	-90,000	
	予備費	4,986,159	5,175,404	-189,245	慶弔費 他
	合 計	17,636,159	17,915,404	-279,245	

平成24年度 日本緑化工学会の収支決算内容を上記のとおりご報告申し上げます。

平成24年9月9日

日本緑化工学会経理担当理事 田中賢治

平成24(2012)年度 英文誌収支予算< 案 >

(平成24年 8月 1日 ~ 平成25年 7月31日)

日本緑化工学会

	費 目	平成24年度予算額	平成23年度予算額	摘要
収 入	正会員費	639,450	668,850	正会員87名 (@7,350)
	学生会員費	29,400	29,400	学生会員7名 (@4,200)
	出版補助費	150,000	150,000	日本緑化工学会より
	小 計	818,850	848,250	
	繰 越 金	30,319	69,169	
	合 計	849,169	917,419	
支 出	諸会費	668,850	701,925	LEE誌購読料
		150,000	150,000	ICLEE運営事務負担金
	合 計	818,850	851,925	

次期繰越金	30,319	65,494
-------	--------	--------

平成24年度 日本緑化工学会の収支予算内容を上記のとおり、ご報告申し上げます。

平成24年9月9日
日本緑化工学会経理担当理事 田中賢治